

TDCソフト、Qlik社製品を活用し東京理科大学の事務生産性を向上

～学内データを QlikView に集約・分析し、事務業務の生産性向上を実現～

TDCソフト株式会社（東京都渋谷区、代表取締役社長：谷上 俊二、以下、TDCソフト）は、クリックテック・ジャパン株式会社（東京都港区、以下、クリックテック）が提供する高速インメモリ情報分析プラットフォーム『QlikView』を活用し、東京理科大学（東京都新宿区、理事長：本山和夫）における大学事務業務の生産性を高める取組みを公開いたしました。

【本取り組みのポイント】

- 学校内に点在する入試広報、教務データを QlikView に集約、学内データの有効な利活用を実現
- QlikView の特徴である高速データ処理、直感的な GUI により、事務業務の生産性が向上
- 今後はエンrollment・マネジメントの実現を目指し、学生支援や大学経営のための新規施策検討やに QlikView を活用

【本取り組みの概要】

近年の社会情勢変化や制度変更により大学の事務業務の質は年々変化しており、事務担当者は従来よりも効率的に仕事を進めることが求められています。

東京理科大学の情報システム部門は、各部門に点在している学内データが業務に有効活用されていない現状を課題と捉え、データ利活用のための情報基盤整備を構想しました。

TDCソフトは、東京理科大学のニーズである柔軟な情報基盤構築の内製化に対して、自由かつ高度な分析を直感的に行える Qlik 製品を活用したソリューションサービスを提供いたしました。

QlikView 導入は、入試広報部門のデータ分析からスタートしました。「様々な入試統計データの調査時間が短縮できた。」、「誰でも簡単に使えた。」、などユーザーが導入効果を実感できたため、教務部門へも展開。今後は、学生支援や就職活動、法人側の財務や人事などへの展開を見据え、東京理科大学のエンrollment・マネジメントの実現をサポートしてまいります。

TDCソフトは今後も活用方法をはじめとする運用面でのサポートも含め、大学やその他教育機関における様々なデータの整備・活用を支援してまいります。

※本リリースに記載された法人名・商品名は、各法人の商標または登録商標です。

■ QlikView について

最先端の連想技術を搭載した高速インメモリ情報分析プラットフォームです。直感的かつ自由な発想でデータ間の関連性を可視化できるため、意思決定のスピードアップに貢献します。東京理科大学では、最新の地理空間分析を実現する「Qlik GeoAnalytics」も追加導入し、高校所在地別入試実績等を地図上にマッピングすることで、より視覚化された詳細な入試広報データ分析を実現しています。

■ 学校法人東京理科大学

理事長 本山 和夫

所在地 東京都新宿区神楽坂 1-3（神楽坂キャンパス）

URL <http://www.tus.ac.jp/>

■ クリックテック・ジャパン株式会社

代表者 カントリーマネージャー 北村 守

所在地 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー10F

URL <https://www.qlik.com/ja-jp>

■ TDC ソフト株式会社

代表者 代表取締役社長 谷上 俊二

創業 1962年（昭和37年）10月16日

上場市場 東京証券取引所 市場第一部（証券コード4687）

資本金 9億7,040万円（2017年4月現在）

所在地 東京都渋谷区代々木 3-22-7 新宿文化クイントビル

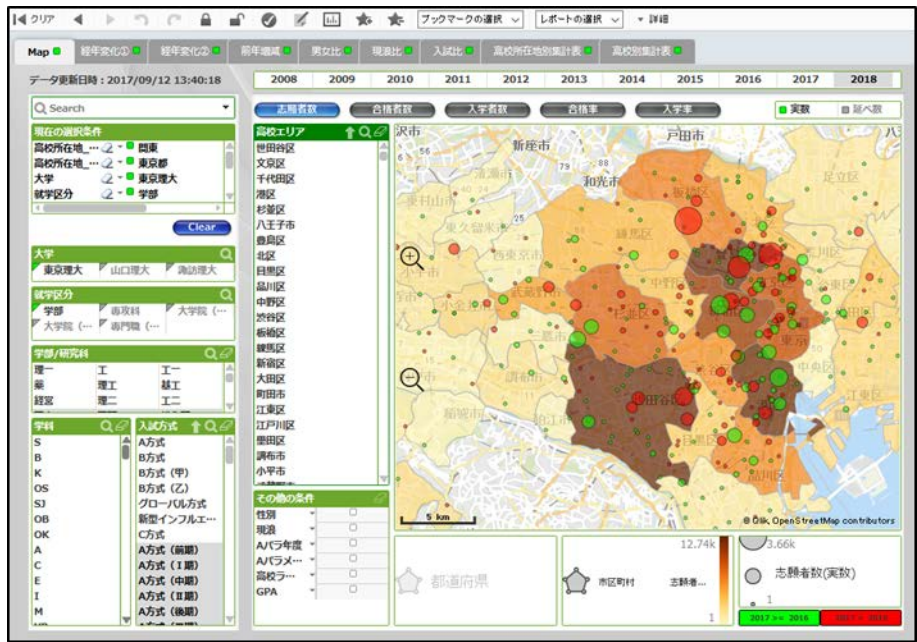
URL <https://www.tdc.co.jp/>

■ 本リリースおよび製品に関するお問い合わせ先

TDCソフト株式会社

TEL : 03-6730-8131 E-mail : tdcsoft_salesplanning@tdc.co.jp

マーケティング部 担当：大西、藤本



QlikView 画面「高校所在地別入試実績」

平成28年度 学校法人基礎調査表
日本私立学校振興・共済事業団

学生・生徒・児童・幼児数及び志願者数
平成28年 5月 1日 現在

(注意) 遅り進捗について
回答締切前(5月中旬)までに、GAUKEN上で遅り進捗処理を行った場合、5月1日時点でGAUKENに登録されていた進捗の異動が反映されるので、この反映の遅れにより学生数が出た場合は、1つ前の学年で提出されます。この点、充分にご留意の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

学 校 種 別	学 年	学 生 数		学 生 数		学 生 数		学 生 数		学 生 数		学 生 数		学 生 数	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
学 校 種 別	1年(部主・博士)(3歳児)	300	194	77	213										
	2年(部主・博士)(4歳児)	300	342	119	401										
	3年(部主・博士)(5歳児)	300	280	83	313										
	4年(部主・博士)(6歳児)	300	232	83	313										
	5年(部主・博士)(7歳児)														
	6年(部主・博士)(8歳児)														
計	1,200	1,028	372	1,404											
学 校 種 別	1年(部主・博士)	3	2	1	2										
	2年(部主・博士)	3	2	1	2										
	3年(部主・博士)	3	2	1	2										
	4年(部主・博士)	3	2	1	2										
計	12	8	4	12											
学 校 種 別	1年(部主・博士)	2,962	1,679	3,960											
	2年(部主・博士)	289	22	80											
	3年(部主・博士)	2,748	1,628	3,774											
	4年(部主・博士)	867	353	1,220											
計	6,866	3,582	9,634												
学 校 種 別	1年(部主・博士)	111	43	274											
	2年(部主・博士)	116	77	269											
	3年(部主・博士)	111	22	11											
	4年(部主・博士)	111	22	11											
計	449	102	406												

志願者数 (GO)

- ・ 募集日(任意設定)時点で在学中の学生をカウント
- ・ 募集日時点で募集申請が「許可」されている
- ・ 専攻科・預科・編入生及び科目等修得生は入力済除外

うち留学生数 (GO)

- ・ 募集日(任意設定)時点で在学中で、かつ留学生フラグが立っている学生をカウント

入学者数 (GO)

- ・ 募集日の当該年度の入学者かつ、募集日時点で在学中の学生をカウント
- ・ 入学年度が当該年度かつ、入学期間が「1年再入学」を含む
- ・ 入学年度が昨年年度かつ、入学日付が昨年5月2日以前の学生を含む

入学者数(うち推薦入学者数) (GO)

- ・ かつ入試結果が「推薦」の学生をカウント
- ・ 入学年度が当該年度かつ、入学期間が「1年再入学」を含む
- ・ 入学年度が昨年年度かつ、入学日付が昨年5月2日以前の学生を含む

QlikView 画面「学校法人基礎調査」